

春の訪れを感じるひととき 翠波高原で菜の花まつりが開催



4月19日、約30万本の菜の花が見頃を迎えた翠波高原（金砂町平野山）で「菜の花まつり」が開催されました。

約3畝の園内に広がる菜の花が高原を鮮やかな黄色に染め、会場には朝から多くの人が訪れました。来場者は、遊歩道を散策しながら一面に広がる菜の花を写真に収めた

り、心地よい春風を感じたりと、この季節ならではの景色を楽しんでいます。

会場の特設ステージでは、音楽ライブのほか、バルーンアート体験やお楽しみ抽選会なども行われ、訪れた人たちは、多彩な催しを楽しみながら、にぎやかなひとときを過ごしました。

食と農への理解を深める 学校給食米の田植え体験会を開催

4月25日、土居町蕪崎にある則友祝幸さんの田んぼで、恒例の学校給食米田植え体験会が開催されました。

この体験会は、田植えを通して、子どもたちに食の大切さ、農業への理解や関心を深めてもらうと、市地産地消推進委員会（合田久会長）が毎年開催しており、今年

は児童と保護者約150人が参加しました。参加者たちは、田んぼに足を踏み入れると慣れない感触に戸惑いながらも、楽しみながら丁寧に苗を植えていました。

今回植えた学校給食米「うまさだち」は、8月下旬の収穫祭で刈り取り、9月頃に給食で提供される予定です。



大きくなって帰ってきてね 園児たちが稚鮎2万匹を放流



5月7日、金生川ラバーズ（井上百代会長）と銅山川漁業協同組合（合田良三代代表理事組合長）による稚鮎の放流事業が、金生川と銅山川で行われ、体長約10センチの稚鮎約2万匹が放流されました。

金生川では、約2000人の園児が参加。園児たちは、バケツから飛び出る

るほど元気な稚鮎に驚きながらも、大切に川辺まで運び、「あゆさんバイバイ」と声を掛けながら放流しました。元氣よく泳いでいく稚鮎に手を振りながら笑顔で見送りしました。

銅山川では、35人の園児が参加し、「大きくなってね」と声を掛けながら優しく放流しました。

本紙上で紹介できなかった記事や写真は、ホームページ「まちの話題」に掲載しています



親子で楽しむ創作活動 子どもの祭典で笑顔はじける

5月10日、みしま児童センターで子どもの祭典が開催され、約1万5千個の紙コップを使った「紙コップランド」やオリジナルシール作りなどを楽しむ親子でにぎわいました。

紙コップランドでは、子どもたちが倒れないようにバランスをとりながら紙コップを積み上げていました。



市独自の子育て支援がスタート ほっこりん手当で買い物を体験

本市独自の「在宅子育て応援手当（ほっこりん手当）」の給付開始に合わせ、4月21日に港記念公園（三島中央）でデモンストレーションが行われました。対象となる親子9組が参加し、給付された地域限定電子マネーを使いキッチンカーで軽食を購入。参加者は、楽しみながら実際の利用を体験しました。



子どもから大人まで楽しめる 児童たちがスナッグゴルフを体験

4月20日、大王海運グループ（岩井正実代表）主催のスナッグゴルフ体験会が新宮小・中学校で開催されました。

この体験会は、多くの子どもたちにゴルフに親しんでもらいたいとの思いから開かれたもので、当日は、女子プロ選手3人が児童たちにゴルフの楽しさを伝えました。



感謝の気持ちを込めて 園児たちが大西市長を表敬訪問

認定こども園三島幼稚園では、毎年5月8日に「お花まつり」を開催し、鼓隊演奏やパレードなどで地域との交流を深め、お互いを思いやる心を育んでいます。この日は、年長児代表24人が大西市長を表敬訪問し、お花まつりの報告と日頃の感謝の気持ちを伝え、花束と甘茶を贈呈しました。



祝 鍛えた力を全国の舞台で 三島柔道会が全国大会に出場

三島柔道会に所属する選手5人が、今年3月に県武道館で開催された県大会において優秀な成績を収め、5月に東京都の講道館で開催された「全国少年柔道大会」に出場しました。

選手らは4月30日に市役所を訪れ、県代表としての誇りを胸に、全国での活躍を誓いました。



祝 小学生ゴルフアークが 全国大会出場を大西市長へ報告

新居浜市で開催された四国小学生ゴルフ大会において、毛利獅音さん（妻鳥小6年・写真中央）、高橋佳佑さん（上分小6年・同中央右）、松本有真さん（長津小4年・同中央左）の3人が、優秀な成績を収め、全国大会出場を決めました。

選手らは4月27日に市役所を訪れ、全国での活躍を誓いました。

祝 全国大会準優勝 空手道 大西杜和さんが快挙



大西杜和さん（三島南中1年・敬心館所属）が、3月に沖縄県で開催された空手の全国大会である「W・K・Oジャパンアスリートカップ」で、準優勝を果たしました。

4月30日、大西さんは市役所を訪れ、大会の結果を報告するとともに、「次は優勝したい」と力強く今後の目標を語りました。

官民連携で健康と安心を支える (株)よんやくと包括連携協定を締結



5月12日、本市は健康的で持続可能なまちづくりの実現に向け、医療品などの卸売りを手掛ける株式会社よんやくと包括連携協定を締結しました。これにより、健康づくりの促進や認知症予防に関する啓発活動など、官民連携による取り組みを進めていきます。

左 締結式に出席した株式会社よんやく新居浜支店の榎原成生支店長（写真）

地域の交通安全を支える 交通指導員に委嘱状を交付



4月30日、地域の交通安全を担う交通指導員への委嘱状交付式が福祉会館で行われました。

交通指導員は、街頭での見守りや啓発活動を通じて、地域の安全安心な暮らしを支えています。大西市長は、委嘱を受けた交通指導員に期待を寄せ、活動への協力を呼び掛けました。

長年の地域福祉活動に感謝 民生委員・児童委員の功績を表彰



5月7日、長年にわたり地域福祉の向上に尽力し、退任された民生委員・児童委員に対し、その功績をたたえて表彰状が贈られました。特に多年にわたって活動し、功績も大きいと認められる委員には、厚生労働大臣特別表彰が贈られました。大西市長は、長年の活動を労うとともに、感謝を伝えました。

紙の未来を拓く新たな拠点 しこちゅく commons 完成を祝う



4月23日、愛媛大学紙産業イノベーションセンター内に整備された「しこちゅく commons」の完成記念式典が行われました。

同施設は、大学や企業などが連携し、紙産業の新たな技術や製品の開発に取り組み拠点となります。式典では、関係者によるテープカットが行われ、施設の完成を祝いました。

文化芸術活動の普及を願って 尾越弘和さんの絵画3点を寄贈



5月10日、障がい者の文化芸術活動の普及を願い、香川県在住の後藤加奈さんから、父の尾越弘和さんが生前に描いた絵画3点が寄贈されました。

尾越さんは、川之江市ろうあ協会の会長として、福祉の発展に尽力されました。寄贈された絵画は、市役所などに展示されます。

写真右から、「富郷の山々」、「あじさい」、「コスモス」

本紙上で紹介できなかった記事や写真は、ホームページ「まちの話題」に掲載しています



土居北 JBC



山田井中央フレンズ



祝
山田井中央フレンズと土居北JBCが
全日本学童軟式野球愛媛県大会で好成績！

4月12日から5月10日に掛けて、県内6会場で開催された「全日本学童軟式野球愛媛県大会」において、「山田井中央フレンズ」と「土居北JBC」が好成績を収めました。

今大会には県内から39チームが出場。両チームは順調に勝ち進み、5月9日に伊予三島運動公園野球場で行われた準決勝で対戦しました。一進一退の攻防が繰り広げられ、試合は延長戦にまでもつれ込む展開となりました。熱戦の末、山田井中央フレンズが接戦を制し、決勝進出を果たしました。

翌10日の決勝では、山田井中央フレンズが松山NORTHベースボールクラブと対戦。惜しくも敗れたものの準優勝を果たし、8月に愛媛県で開催される全国大会への出場権を獲得しました。また、土居北JBCも開催地枠で全国大会への出場権を獲得しました。

新緑の効を希う

今から一年半ほど前のこと、初めてお目にかかる観葉植物が当時の選挙事務所にやってきた。樹種は、フィカス・ウンベラータ。熱帯アフリカ原産のクワ科の常緑高木で、イチジク属の仲間とのこと。ハート形の大きな葉が特徴で、時々水遣りをしながら癒される日々を過ごしてきた。この葉の丸みが「調和」を意味し、リラククス効果のほか、人間関係のストレスを軽減し、絆を深める効果が期待できるとされている。

その意味でも、共に選挙戦を戦い抜いてくれた奏効に感謝し、さらなるご加護を期待して我が家の玄関に連れて帰った。

以来、いろんな所へお邪魔した際などに、そのつもりで見るとウンベラータの気持ちは高く、多くの人に重用されているのを知った。その「調和の守り神」とも言えるウンベラータが、3月下旬から危機に瀕した。一枚一枚と葉が散りはじめ、天気の良い日に陽に当たってやろうと外へ出したものの、夜の冷え込みが厳しく、帰宅後にも失念して朝を迎えてしまったあの

逆風

浩帆！ 四国中央市長 大西賢治



と、見るも無残に葉はすべて落ちてしまった。正に、その頃の小職の置かれた状況を暗示するかの如くであり、それを見て気も滅入った。

もうダメか…とも思ったが、4月に入り、妻のケアのお陰もあってウンベラータは息を吹き返した。新緑の候、復活の芽吹きである。

時を同じくして、庁舎脇に伊予三島市時代からあるケヤキの大木も、気温の上昇とともに、見る見るうちに萌え萌えと生い茂った。

冬来たりなば春遠からじ…
夏も近づくと八十八夜を過ぎた頃になって、今更ながらそんな言葉が脳裡をかすめた。今年も、茶畑の新芽が摘まれ、霧の森大福となつて新宮を盛り上げてくれる。

土居では、山の所有者や関係者のご努力で、東赤石山の登山道が再び開通した。切山では、山を築しむ人たちの休憩所として、ボランティアで老人集いの家のリフォームが進む。嶺南では、地域おこし協力隊が、金砂湖畔の遊歩道の復旧に汗を流してくれている。緑の植物の魅力と底力は尊い！